

基礎基本を含む活用力を育成する教材集 ～未来への挑戦～

活用の手引き



児童生徒の学びの充実に向けて
私たちが挑む『日々の小さな挑戦！』

授業で活用

補充的な学習で活用

家庭学習で活用

教科等横断的に活用



福岡県教育委員会

令和5年1月

目次

はじめに

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むことを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しています。また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成しています。

小・中学校学習指導要領（平成29年告示）の全面実施を受けて、令和3年度には教材集の改訂を行っており、各学校では、授業をはじめ、朝の活動や家庭学習等における補充的・発展的な問題として活用していただいているところです。

この度、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用していただくために、平成27年度に作成した「活用の手引き」を更新しました。是非、先生方の指導力量の向上を通して、児童生徒の資質・能力の確実な育成、学力向上につなげていただきますよう強くお願いいたします。

令和5年1月
福岡県教育委員会

1 教材集活用についての目的共有…………… 2

2 検証改善サイクルで有効活用…………… 3

3 教材集の具体的な活用例（授業）…………… 4

4 教材集の具体的な活用例（補充）…………… 6

5 教材集の具体的な活用例（家庭）…………… 7

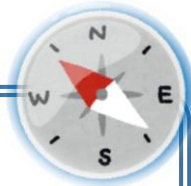
6 教材集の具体的な活用例（教育課程）…………… 8

7 まとめ…………… 9

※（参考）算数、数学科の単元との関連

1

教材集活用についての目的共有



育成を目指す資質・能力を
明確にした学習指導要領



目指すのは…

何ができるようになるか

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性等

そのために…

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び

日々の授業改善

カリキュラム・
マネジメント 等

実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも
対応できる
思考力、判断力、
表現力等

できることをどう使うか

本県児童生徒の課題
(全国学力・学習状況調査から)

『基礎基本を含む活用力を育成する教材集』の効果的な活用

『授業で！』

『家庭学習で！』

適切な時に

適切な段階で

適切な方法で

『補充的な学習で！』

『教科横断的に！』



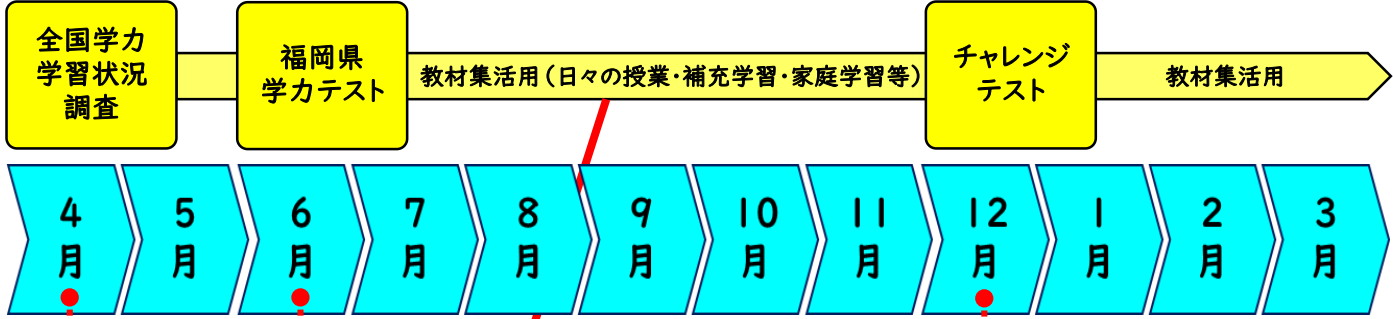
学習指導要領で求められている資質・能力を育成するために、教材集をどのように活用すればよいか、参考例を示します。(次頁～)

2

検証改善サイクルで有効活用



令和4年度の検証改善サイクルの例



①各調査を基に実態把握→②学力向上プランと併せて随時校内で共有及び活用方法検討→③実践→④振り返り

学力向上プラン、ロードマップと重ねて活用

令和4年度 学力向上プランを基にした検証改善ロードマップ(中学校の例)

【視点・目標等】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学力向上検証改善委員会等	P D C A P D C A P D C A											
全国・県学力調査等	全国学力調査実施		県学力調査実施		全国学力調査結果送付(予定)		県学力調査結果送付(予定)		学力調査結果報告書HPアップ			
【視点①】	児童とともに「めあて」をつくる活動											
生徒とともにめあてをつくる授業	本時のめあてとそれを引き出す工夫を週案に記入 1学期:めあて、まとめ、振り返りのある授業 1学期:ペア・グループで話し合い、考えを表現する活動の定着						根拠をもとに考えを表現し、まとめ直す活動 本時のめあてとそれを引き出す工夫を週案に記入 2学期:めあて、まとめ、振り返りの質の向上 2学期:ペア・グループで話し合い、考えを表現する活動の質の向上					
理由や根拠を明確にしてペアやグループで話し合い、考えをまとめ直す活動	クリスト	授業予テ	クリスト	授業予テ	生徒による授業評価	結果共有	クリスト	授業予テ	クリスト	授業予テ	生徒による授業評価	結果共有
【視点②】	習熟度別授業(1年生)						習熟度別授業(3年生)					
習熟度別授業	補充学習①(数と式) 集中講座						補充学習②(関数) 集中講座 補充学習①、②					
放課後補充学習	個人・学級目標の設定⇒挑む①⇒振り返る①						個人目標の付加修正⇒挑む②⇒振り返る②					
目標を設定し、達成感を味わう活動の設定	校内診断テスト	月末検定①	期末考査	月末検定②	集約	考査、検定の	月末検定③	中間考査	期末考査	集約	考査、検定の	月末検定④
【視点③】	個人実践+管理職による教室訪問											
思考力を問う授業公開、定期考査	校内研 定着度把握 校内研(講師招聘) 学力課題 課題克服のための授業						単元等の 考査問題確認 授業研究③ 単元等の 考査問題確認 授業研究② 単元等の 考査問題確認 授業研究①					
小中合同研	校内研 合同研① 単元等の考査問題確認 学力向上プランを基にした授業改善 単元等の考査問題確認 学力向上プランを基にした授業改善						単元等の考査問題確認 学力向上プランを基にした授業改善 単元等の考査問題確認 学力向上プランを基にした授業改善					
【視点④】	主体的・計画的な家庭学習											
主体的・計画的な家庭学習	小中家庭学習取組強化期間 生徒質問紙 家庭学習について検証改善 生徒質問紙 家庭学習について検証改善						小中家庭学習取組強化期間 生徒質問紙 家庭学習について検証改善 生徒質問紙 家庭学習について検証改善					

一年間の総括

3

教材集の具体的な活用例

『授業で!』



① 問題が、どの資質・能力に関連するかを検討する。

② 活用できる単元や一単位の学習過程を検討する。

③ 活動、発問を考え、適宜学習過程に位置付ける。

小学校学習指導要領 国語（第3学年及び第4学年 「思考力、判断力、表現力等」A話すこと・聞くこと）

(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるように指導する。
 才 目的や進め方を確認し、**司会などの役割を果たしながら話し合い**、互いの意見の共通点や相違点に着目して、**考えをまとめること**。

問1 「話し合いの」の「部」には、どのようなねらいがありますか。そのねらいとしてもふさわしいものを、あとのアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

ア 疑問についてみんなで話し合う。
 イ 自分が考えたことを全員に伝える。
 ウ いくつかの意見を一つにまとめる。
 エ 話をまとめることとして話し合いを続ける。

問2 「話し合いの」の「A」には、どのような言葉が入りますか。内村さんの発言の中にある言葉を抜いて、二十字から三十字で書きましよう。

問3 「話し合いの」の「B」には、どのような言葉が入りますか。話し合いの「部」の中から、十文字書きましよう。

問4 長島さんは、次の「メモ」を見ながら発表しています。話し合いの「部」の「C」に入る言葉を、〈やぐて〉に合わせて書きましよう。

第四学年「めあて」話し合いで考えをまとめた後、意見を出したりしよう。

内村さんの学年では、十月に秋の遠足に行きます。そこで、各学年で「遠足のしおり」の表紙の絵について、どのような絵にするかを話し合った。話し合いの「部」の「D」は、これをよく読んで、あとの問いに答えましよう。〈しや〉は字数に数えます。

話し合いの「部」

内村 「遠足のしおり」の表紙の絵について、皆さんの意見を発表してもらいます。その絵がよい理由も発表してください。では、一ばんからお願ひします。

中由 一ばんでは、船の絵がよいという意見にまじりました。秋の遠足では、海が見える公園に行きます。だから、海と関係のある絵がよいと思うからです。

大森 二はんは、もみじの絵がよいということになりました。秋の遠足ですから、秋らしい絵がよいと思うからです。ところで、表紙の絵はだれがかくのでしょうか。

内村 だれが絵をかくかは後で決めます。まずは何をかくかを話し合ひましよう。三はんの意見をお願いします。

川上 三はんでも、一ばんと同じように船の絵がよいという意見が出ました。でも、サッカーの絵がよいという意見もありました。はんのメンバーの半分以上が、この意見にさんせいしています。

川上 A

内村 公園ではスポーツができるそうですね。だから、みんなが楽しくサッカーをしている絵にしたら、遠足の楽しさが伝わると思うからです。

「メモ」

「遠足のしおり」の表紙の絵について

○もみじ

○鳥

(理由) 秋にぴったりだから

(理由) つばさも広げて空を飛んでいる鳥の絵

※クラスの目標

「みんなで、大きくはばたこう」

☆やぐて

○「メモ」の言葉を使って「まとめる」とし、

○「つばさ」「目撃」という言葉を大入れて、終わりの言葉を「表しているからです。」にする。

○四十文字から六十文字書くこと。

単元展開段階 (授業での問題活用例)

問1

- ① 実際に行う話し合いの役割分担を確認する。
- ② 本問題を解く。
- ③ 話し合いを行い、司会、提案者、参加者の役割を整理する。

単元終末段階

問4

- ① 話し合い後、設定した条件のもと、各自の考えをまとめて交流する。
- ② 追事象として問題を解く。
- ③ 考えと解答を比べ、一般化する。

話し合い (経験) + 記述、交流

3

教材集の具体的な活用例

『授業で！』



① 問題が、どの資質・能力に関連するかを検討する。

② 活用できる単元や一単位時間の学習過程を検討する。

③ 活動、発問等を考え、位置付ける。

小学校学習指導要領 算数（第4学年 Dデータの活用（1））

(1) データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) データを二つの観点から分類整理する方法を知ること。

② 東地区と西地区では毎年合同で、小学生のハイキングが行われます。今年度の実行委員になったゆういちさんとみきさんは、飲み物の注文を受け付けています。お茶とスポーツドリンクの2種類のペットボトルから、どちらか1本、もしくは両方を1本ずつ注文することができます。注文しなくてもよいです。



今年度の東地区からの参加人数は30人いました。このうち、お茶とスポーツドリンク両方とも1本ずつ注文した人は20人いました。お茶だけを注文した人は2人いて、スポーツドリンクだけを注文した人はいませんでした。



西地区の参加人数も30人いました。このうち、お茶を注文した人が25人いました。スポーツドリンクを注文しなかった人は7人いました。

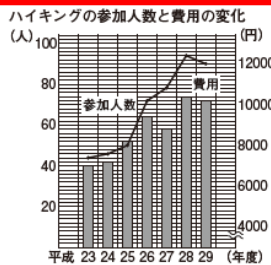
(1) ゆういちさんとみきさんは、注文を受けたお茶とスポーツドリンクの本数について、表にまとめています。アからエまでにあてはまる数をそれぞれ書きましょう。

	お茶	スポーツドリンク	合計
東地区	ア	20	イ
西地区	25	ウ	
合計		エ	90

ア イ ウ エ

(2) 表の で囲まれた数の90は、どのような数を表していますか。

(3) 右のグラフは、年度ごとのハイキングの参加人数の変化を折れ線グラフで、かかった費用をばうグラフで表したものです。このグラフからわかることとして正しいものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- ハイキングの参加人数がいちばん多かった年度の費用は、1万2400円である。
- ハイキングの参加人数のふえ方がいちばん大きいとき、費用のふえ方もいちばん大きい。
- ハイキングの参加人数が前の年度よりもふえたときは、費用も必ずふえている。
- 平成23年度と28年度をくらべると、ハイキングの参加人数は2倍以上にふえている。

(例)

一単位時間の終末段階

□ (2)

- ① 本時学習の最後に、振り返りを行う場面で活用する。
- ② 短い時間で取り組むことができるよう部分的に行う。

単元の終末段階

□ (3)

- 単元の終末段階で、二つのグラフの組み合わせから単元のまとめの一部分として活用する。

□ 国語科及び算数科の授業では、「単元及び一単位時間の学習の課題」として活用することや学習内容を確認するために「追事象の問題」として活用すること等が考えられます。

□ 児童生徒の意識の流れに沿っているか、習熟のために適切な問題かを考え、意図的に活用することが大切です。

4

教材集の具体的な活用例

『補充的な学習で！』



授業

【補充的な学習】
身に付ける資質・能力
・確認
・繰り返し

【ポイント】
・学習指導要領の内容をもとに、補充的な学習のねらいを明確にする。

もう一度、確かめたいな。

確実に定着させたい。



児童生徒
(意識)

授業

教師
(意識)



もっと自信をもちたいな。

達成感を味わわせたい。

【補充的な学習の位置付け】

①身に付けさせる内容を学習指導要領で確認し、関連する問題を選定

②(活用場面と方法例)
・帯の時間等
・提示、選択、共有

③教師の採点、自己採点后、授業の場面とつないで確認する場を設定

(留意点)

- 補充的な学習を位置付けるねらいを明らかにし、問題を選定する。
- 類似問題だけで判断せず、身に付けさせる内容との関連の視点から選定する。

(留意点)

- 計画されている補充学習の時間に位置づける。
- 問題は、教師が適切に提示したり、選択して話し合ったりして取り組む。

(留意点)

- 教師の採点后、「〇〇の時に考えたことと似てるね。」などでつなぐ。
- 自己採点后、振り返りでどの学習とつながるかまとめる。

補充的な学習を取り入れた指導を行う際には、様々な指導方法や指導体制の工夫改善を進めることが学習指導要領にも示されています。場当たりのではなく、各学校の実態に応じた組織的な取組で、教材集の活用を図ることが最も大切です。

5

教材集の具体的な活用例

『家庭学習で!』



予習

授業

復習

【ポイント】

・学習指導要領の内容をもとに、家庭学習の意図を明確にする。

小学校学習指導要領解説「総則編」P23 2生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開(1)確かな学力では、『～<前略>～家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するように配慮すること。』と示されています。

また、「家庭との連携を図りながら、宿題や予習・復習など家庭での学習課題を適切に課したり、発達の段階に応じて学習計画の立て方や学び方を促したりするなど家庭学習も視野に入れた指導を行う必要がある。」とされています。

第5学年単元「面積」の学習での活用例

【身に付ける資質・能力】

小学校学習指導要領 算数（第5学年B図形（3））

ア(ア)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。

イ(ア)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。

単元導入

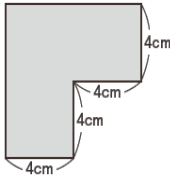
予習

単元展開

復習

④ 次の形の、色をぬった部分の面積を求めましょう。

(1)



(式)

(答え)

授業

授業

○ 長方形や正方形ではない形の面積も求められるようになりたいな。

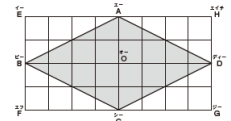
「次の時間までに取り組んでみましょう。」
・教材集（4年生）

○ これまでの求め方を組み合わせながら、新しい形にも求めることができた。

「今日の授業の考え方を活かして取り組みましょう。」
・教材集（5年生）

□ ふゆきさんとさくらさんは、図形の面積の求め方を復習しています。

(1) ふゆきさんは、方眼紙にひし形の図をかきました。



ひし形ABCDの面積は、
直線AOの長さ×直線BOの長さ×2
の式で求められるよ。

ふゆきさんが考えたひし形ABCDの面積の求め方を、上の図を使って説明しましょう。

(説明)

家庭学習等で予習・復習を取り入れた指導を行う際には、授業での児童生徒の意識の流れと家庭学習等で行う課題の内容とがつながるようにすることが大切です。各単元で行う学習活動の質の向上を目指して、家庭学習と関連付けて位置付けることを検討しましょう。

6

教材集の具体的な活用例

『教科等横断的に！』

全
教
職
員

各学校の教育課程
身に付ける資質・能力
の段階に応じた活用

検
証
改
善
サ
イ
ク
ル

【ポイント】

- ・ 組織的、計画的実施
- ・ 全教科等、全学年での取組



第1・2学年

A 話すこと・聞くこと

(1)エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。



〇少人数での話し合い

言語活動例

イ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動

第4学年

A 話すこと・聞くこと

(1)エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

小池さんの発表のはじめの部分

みなさんのへチマは、どのように育っていますか。わたしがへチマの種をまいたのは、四月二十五日です。芽が出たのは五月十日なので、種をまいてから芽が出るまでに約二週間かかったことになります。しかし、わたしの姉が去年へチマを育てたときには、種をまいてから一週間芽が出たそうです。同じようにへチマの種をまいたのに、わたしのときと姉のときで、芽が出るまでの日数がちがいました。これはどうしてでしょうか。ふしぎに思ってたので、調べてみました。

問3 山本さんは、小池さんの発表を最後まで聞いて、次の質問をしました。

小池さんの発表で、へチマの芽が出るまでの日数は気温によって変わると分かりました。ところで、芽が出た後の成長にも、気温は関係するのでしょうか。

この質問のねらいとしても、ふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 自分の考えが正しいかどうかをたしかめる。
イ あいまいな言葉の意味をたしかめる。
ウ 聞き手がしたことをもう一回聞く。
エ 発表の中でふれられなかったことを聞く。

言語活動例

イ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動

第5学年

A 話すこと・聞くこと

(1)エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること

小池さん（ヒーローの内部）

あきさ どのくらい育ちましたか？

ふゆりコロンと育ちましたよ。

あきさふゆりのように、日に日にふゆりの種をまいているんですけど、ふゆりコロンにしか育っていません。

あきさふゆりさん、聞いても、毎日二十日だけ観察するようじゃあ、あきさふゆりさん、観察を続けてはあげないで、毎日観察するようじゃあ、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。毎日観察すれば、ふゆりコロンも育ちますよ。

言語活動例

イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動

国語科の学習

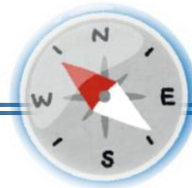
学級活動
話し合い

児童会活動
委員会活動

総合的な学習の時間

各教科等の話し合いにおいて、『国語科の「話すこと・聞くこと」』の視点で活動を関連させ、資質・能力を育成する。

資質・能力の育成のためには、カリキュラム・マネジメントの視点でより質の高い学びをつくりだすことが大切です。



具体的な活用方法（例）

【教師は・・・】

- 研修で共有
『義務教育課各種資料』
を用いて各教科での
指導に生かす。
- 日常的な授業の
確認問題等で活用する。

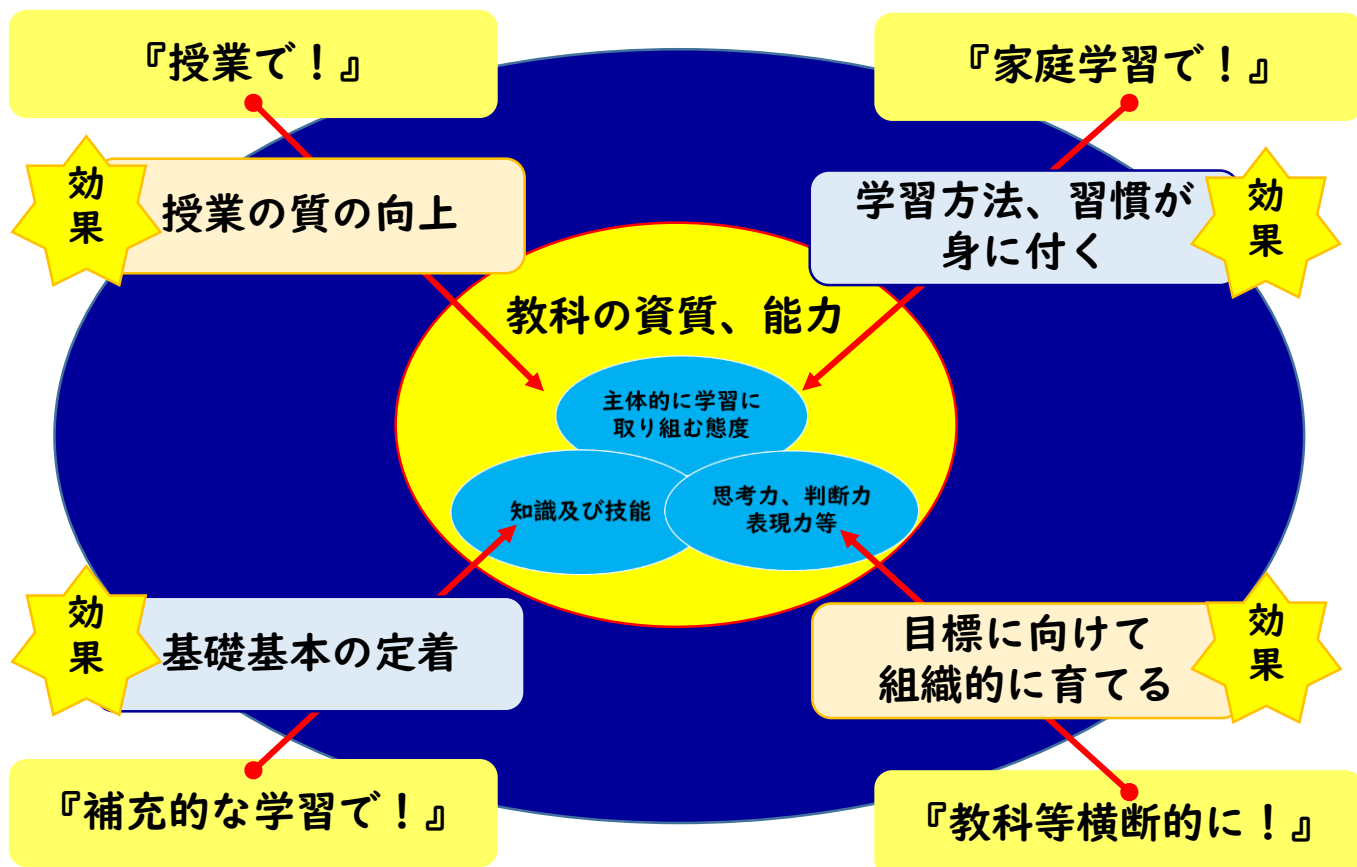


【児童生徒は・・・】

- 自主学習で実施
予習、復習等を計画し
自分で選択する。
- 家庭学習の内容と
授業をつなぐ。



活用することで



各学校の実態や取組状況に応じて、組織的、計画的に教材集を活用していくことで、資質・能力の育成を図りましょう。

